

大学図書館問題研究会 京 都

URL : <http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/index.htm>

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条1-1 京都学園大学総合研究所事務室 大館和郎気付
(TEL) 0771-29-2392 (FAX) 0771-29-2388

「京都支部役員体制が決まりました！」

京都支部委員会の体制を第3回及び第4回支部委員会で決めました。

- 支部長 大館和郎(学園大)
- 事務局長 大館和郎(学園大)
- 支部報編集 田北十生(京都橘)
- 支部報印刷 金森孝之(京大)
- 支部報発送 金森孝之(京大)
- HPとML担当 赤澤久弥(京大)・呑海沙織(京大)
- 研究企画 呑海沙織(京大)・赤澤久弥(京大)
- 組 織 吉田誠(京大)
- 財 政 吉田誠(京大)
- 全国委員担当 呑海沙織(京大)

【会員著書のお知らせ】

呑海沙織

「英国における学術情報資源提供システム」

掲載誌「情報の科学と技術」 51巻9号 484-494

目次	大図研京都支部役員体制……………1頁
	会員著書のお知らせ……………1頁
	京都と所管大会第10回について……………2頁
	第3回京都支部委員会報告……………3頁
	第4回京都支部委員会報告……………3頁
	第55回数珠つなぎ……………4頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで
編集気付 (dkamr302@kyoto.zaq.ne.jp) takita まで

京都図書館大会第10回について

金森 孝之

京都図書館大会第10回(平成13年9月12日、京都府立図書館)に参加いたしました。講演の中で、特に気になった点のみトピック的に報告します。

大城善盛先生の講演は「21世紀の図書館像を探る」でした。情報リテラシー教育がたいせつである。生涯学習社会となり様々な館種を越えた図書館の連携が求められる。

オンライン情報源が主流となる。所蔵から基本アクセス主流へ。サイト・ライセンスからコンソーシアム・ライセンスへ。図書館と情報処理センターの融合。大学全体の電子図書館形成。図書館、文書館、博物館の融合。司書は、伝統的な司書プラスコンピュータと通信技術能力が必要。インターネットに習熟した検索スペシャリストが必要。図書館の情報サロン化。レファレンスは、電子メールでも受け付けるべし。インターネット上の有益なリンク形成も図書館の仕事。

図書館の評価は第三者評価であるべきだ。特に、利用者の満足度。情報リテラシー教育とコンピュータ・リテラシーとは違う。日本における、情報リテラシー教育の特徴は、独立科目型である。図書館は、情報が交流し、交換される場となるべきである。

以上、今後の大学図書館の将来の方向性が理解できました。

京都府立図書館の川上元氏は「公共図書館とIT」について講演されました。京都府立図書館は、IT技術を導入することをコンセプトとして設計されており、マルチメディアを活用した21世紀型図書館を目指している。3つのサブ・システム(業務支援サブ、ネットワーク・サブ、マルチメディア・サブ)で成り立っている。及び、付随の3システム(CD-ROM閲覧システム、外部データベース閲覧システム、AVブースシステム)について。多分、公共図書館で利用者が外部データベースを利用できるのは、最初であろう。但し、有料。レファレンス・サービス支援機能は、図書館員が共同で構築する知識データベースとして構想している。

インターネットの閲覧端末があるが、フィルター・ソフトをインストールしている。但し、利用者の知る権利を侵害しているかも。公共図書館では、利用者が多様なため、利用者教育は難しい。国会図書館総合目録は、公共図書館全体の総合目録として機能している。

参加者は、120名と予想以上の参加があり、会場は人であふれる大盛況でした。その後の、懇親会では、川上氏より、府立図書館の創設に関わる興味ある裏話を聞くことができました。

京都府立図書館内の見学会もありました。特に自動書庫は、すごいです。ひととおりの説明を聞きましたが、聞き漏らした点もありますので、いずれ、詳しく報告できればと思います。

(かなもり・たかゆき 京都大学経済研究所図書館)

第3回支部委員会の報告

日 時：2001年9月4日(火) 19:00-20:30
場 所：京都大学附属図書館3Fスタッフルーング
出 席：赤澤、大館、金森、田北、呑海、吉田

【報告事項】

1. 全国大会報告
2. 会員情報 ・退会者1名
3. 財政情報 ・2001年度会費納入者 24名

【審議事項】

1. 支部委員任務分担について
 - ・全国委員については次回に決定することになった。
2. の研修活動及び交流活動について
 - ・1泊2日の見学・交流会は取りやめることになった。
 - ・代わりに1日のみの見学会を計画することになった。時期は11月以降とする。
 - ・年明けに電子ジャーナル及びライブラリーコンソーシアムに関する1日セミナーを企画する。2月1日から2月10日の間の入試時期を避ける。
3. 支部報について
 - 1) 10月号 インターネット活用術 数珠つなぎ
4. その他
 - ・京都支部のホームページに過去の数珠つなぎ記事からいくつかを選び著者の許諾をとったうえで掲載する。

次回支部委員会 10月2日(火)

第4回支部委員会の報告

日 時：2001年10月2日(火) 19:00-20:30
場 所：京都大学附属図書館3Fスタッフルーング
出 席：大館、金森、呑海

【報告事項】

1. 会員情報 93名(変動なし)
2. 財政情報 25名(納入率26%)

【審議事項】

1. 全国委員について
 - ・全国委員担当：呑海支部委員
2. 9月以降の研修活動及び交流活動について
 - 1) 見学会について
 - ・好企画が立てられるまで保留する。
 - 2) 1日セミナーについて
 - ・開催候補日について以下のように決定した。
第1候補：1月26日(土)
第2候補：2月16日(土)
第3候補：1月19日(土)
 - 3) 忘年会について ・11月27日(火)の支部委員会後に開催

次回支部委員会 11月27日(火)

